

- 問1 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 問2 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？
- 問3 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？
- 問4 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？
- 問5 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 問6 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
- 問7 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 問8 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 問9 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？
- 問10 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 問11 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 問12 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問13 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 問14 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
- 問15 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 問16 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 問17 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 問18 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
- 問19 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 問20 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
- 問21 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？